

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
国際交流論	1年次 後期	必修	講義	1単位（15時間）	小林 房代 ※
授 業 概 要					
<p>社会のグローバル化が進むなかで、国レベルの関係者同士の外交だけでなく、一般市民が交流して、異文化に対する理解を深める必要性が高まってきた。様々な国の人との相互理解を促進するために国や地域によって異なる文化的背景を知り、「国際交流」「多文化共生」の必要性を理解する。</p>					
到 達 目 標					
<ol style="list-style-type: none"> 1. グローバリゼーションの現状、国際交流の意義を知る。 2. 国や地域によって異なる文化的背景、価値観があることを知り、それを尊重する重要性を述べる。 3. 日本で暮らす外国人の生活を知る。 4. 外国人との交流を体験する。 					
実務経験のある教員					
小林房代：自身の国際交流・国際支援活動の経験を踏まえて教授・ファシリテートする。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-8	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国際交流の意義 <ol style="list-style-type: none"> 1) グローバリゼーションとは 2) 国際交流のしくみ 3) 多文化共生と異文化理解 2. グループワーク①：南魚沼市で生活する外国人の理解 <ol style="list-style-type: none"> 1) 出身国の地理と概要、特徴、医療・看護、教育制度、課題などを調べ、発表する 3) 当該国の人の意見を聞き、文化、価値観などの理解を深める 3. グループワーク②：南魚沼市で生活する外国人への支援 <ol style="list-style-type: none"> 1) 当該国の情報を元に南魚沼市での生活を理解する 2) 生活上の困難、課題を知り、対応策を検討し、発表する 3) 国際交流をすすめるために私たちにできることを考える 4. 国際交流体験 <ol style="list-style-type: none"> 1) グループワークにおいて、当該国のゲストスピーカーから必要な情報を母国語あるいは英語、日本語で収集する。 2) 当該国に対する理解を深め、必要な支援を考察する 				小林 房代 ※ ダシルワ プブドゥ 他ゲストスピーカー
学 習 方 法					
講義 グループワーク					
評 価 方 法					
〔評価方法〕 グループワークの発表とその内容、課題レポート					
先 修 科 目					
なし					
教 科 書 、 参 考 書					
〔教科書〕 系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践 [3] 災害看護学・国際看護学 竹下 喜久子 医学書院					
〔参考書〕					